

1年1組 道徳科学習指導案

日時 平成30年10月26日 第5校時
場所 小島小学校 1年1組教室

1 主題構成表

主題名 やさしい ころ

資料名 はしのうえのおおかみ

■内容項目 B- (6)

身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。

■内容項目から見た児童の実態（意識）

- ・「手伝って」と言われると、進んで動け、言われたことは素直にやる子が多い。
- ・自己中心的な考え方が強く、ほめられるために、人から仕事を奪ってでもするように、手伝ったら相手が喜び、自分も嬉しいから手伝うという意識には至っていない。

■要因

- ・日頃の生活の中で、お互いに思いやり思いやられるような豊かな経験を積んでいないため親切にする心地よさを感じ取っていない。

■価値の分析

- ・やさしい心の根底には、他者が喜ばば自分も嬉しくなる思いやりの心がある。親切は、表面的な行為であり、その行為を生むものは、思いやりの心である。それは、他者に関心をもち、他者の気持ちを理解しようとする心であると言ってよい。
- ・低学年では、身近な人に広く目を向け、温かい心で接し、親切にすることの大切さについて、考えを深められるようにする必要がある。身近にいる幼い人や高齢者等の触れ合いの中で、相手のことを考え、優しく接し、具体的に親切な行為ができるようにすることが大切である。
- ・この時期の児童は、学校生活に慣れ、自分の周りの人や交流会で幼稚園の子の気持ちを考える余裕が出てきている。そこで、多様な人との直接的な関わり合いの機会を多くし、親切な行為を行うことによってお互い気持ちよさを感じ取らせたい。

■教材（資料）の分析

- ・始めにおおかみが自分より弱そうな相手であるうさぎやきつねに対して、意地悪を楽しんでいた。そして、自分より強そうな熊から意地悪をされると思っていたのに、思いがけなくやさしくされ、嬉しくなったことから、相手の気持ちを考えてやさしくする心地よさに気づく内容である。
- ・まず、うさぎやきつねに対して意地悪をしているおおかみの楽しさに共感し、そのような気持ちは自分にもあることに気付くことができる。
- ・自分より強そうな熊が、自分に意地悪をせず、優しく抱き上げてくれた行為から、自分が相手の気持ちを考えていなかったことに気付き、親切にすることは相手だけでなく自分も嬉しくなることを実感することができる。

■ねらい

相手の立場や気持ちを考えた行為は、相手だけでなく、自分も嬉しくなることに気付き、友達や立場の弱い子、幼い子、高齢者に対して温かい心で接し、やさしくしようとする心情を育てる。

■他の教育活動との関連

<よいことみつけ> やさしくできたこと・やさしくしてもらったことを帰りの会で振り返って心の花にして掲示していく。

■事前

- ・かがやきみつけで、優しくしてもらったこととしてあげたことを帰りの会などで認め合う。

■本時

道徳
「はしのうえの
おおかみ」

■事後

- ・優しくしてもらったことをかがやきみつけで広め、優しくした子の気持ちを伝える。

2 本時の展開

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助 *人権教育の観点
導入	<p>1 自分がやさしくされた経験を話し合う。</p> <p>○友達やお兄さん、お姉さん、地域の方など自分の周りの人にやさしくされたことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消しゴムをなくしたとき、友だちと一緒に探してくれた。 ・分団の6年生が学校へ来るときに、荷物が多かったので「持ってあげようか。」と言って、持ってくれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしくされてうれしかった経験を発表することで、価値への方向づけをする。 ・事前のアンケートをもとに意図的指名をする。 ・どんな気持ちでやってくれたと思うかを考えさせる。
展開前段	<p>2 資料を読み、主人公の気持ちや行動について話し合う。</p> <p>○感想を発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おおかみさんは、橋を通らせてあげなかったから意地悪だなあ。 ・熊さんは、大きいけど優しいなあ。 <p>○うさぎさんたちに、「もどれ、もどれ。」と言っているおおかみさんは、どんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うさぎさんたちが怖がって戻っていくのはおもしろい。 ・意地悪は楽しいな。 ・俺は強いんだ。もっとやりたいなあ。 <p>○熊さんに一本橋を抱っこして渡してもらった時、おおかみさんはどんなことを思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あれっ、追い返されると思ったのに。 ・熊さんは、強くて意地悪をせずに、わたしを渡してくれた。やさしいな。 ・ぼくは今までみんなの気持ちを考えなかった。悪いことをしたなあ。 ・やさしくされるとうれしいな。これからは、熊さんのようにやさしくしよう。 <p>◎熊さんのまねをして、たぬきさんを抱き上げて橋を渡しているおおかみさんは、どんな気持ちになったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いい気持ちだなあ。 ・意地悪するよりもずっといい気持ちだな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>深めの発問</p> <p>○おおかみさんは、どうしてかわったのでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・さっきも楽しかったけど、ウサギさんは嫌な気持ちになっていた。今は、やさしくしてたぬきさんも喜んでいて、自分もうれしい。やさしくすると気持ちがいいな。 ・やさしくされるとうれしいことがわかったから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料名、主題名を板書して、今日のお話に出てくる登場人物を確認し、お話を聞くポイントを児童に話す。 ・教師が子どもの様子を見ながら範読する。 ・他の動物を喜々として追い払う様子を動作化させ、意地悪を楽しむオオカミの思いに共感させる。 ・熊がオオカミを抱いて橋を渡すという役割演技を通して、大きくて強い熊が弱い者いじめをしないことを、意外に思う気持ちと、やさしくされて嬉しくなったオオカミの気持ちに気付かせる。 ・役割演技のめあて（やる側・見る側）を確認してから児童にさせる。 ・意地悪→自分は楽しいが、相手はいやな気持ちになる。 親切→自分も相手も気持ちがいい。 *力の強い相手に、思いがけずやさしくされたことから、意地悪を楽しんでいた自分を振り返り、相手を思いやる行動の気持ちよさに共感し、身近な人に親切にしたいという願いをもつ。（自己啓発力）
展開後段	<p>3 自分の生活を振り返る。</p> <p>○やさしくしてあげてよかったな、やさしくして気持ちがいいなあと思ったことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aさんが、コップの水をこぼしてふいていたので、一緒に拭いてあげました。拭き終わった時、「ありがとう。」と、言ってくれたので、うれしかったし、床がきれいになって気持ちよかった。拭いてよかったなあと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしくできた事実とともに、その背景には、相手を思いやる心があったことに気づかせる。また、やさしくした相手の言葉や表情から相手も嬉しく感じていたことに気づかせる。 ・プリントには、①どんな出来事？②そのときの気持ち③今の気持ちという順番で書かせる。 ・どんな気持ちでやってくれたと思うかを考えさせる。
終末	<p>4 教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしくすることに対するあこがれをもたせ、やさしくする意欲を高める。